

目 次

「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、
該当ページまで移動します。

出席委員	2
討論及び採決	4
特別委員会報告書の作成について	12

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場
合があります。

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

令和元年 利府町議会決算審査特別委員会会議録（第5号）

令和元年9月27日（金曜日）

出席議員（1名）

議長 吉岡伸二郎 君

出席委員（17名）

委員長 伊勢英昭 君

副委員長 鈴木忠美 君

委員 今野隆之 君

渡邊博恵 君

鈴木晴子 君

西澤文久 君

伊藤司 君

坂本義也 君

安田知己 君

木村範雄 君

土村秀俊 君

高久時男 君

及川智善 君

永野涉 君

遠藤紀子 君

渡辺幹雄 君

羽川喜富 君

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

町 長

熊谷大 君

副 町 長

櫻井やえ子 君

総務課 長

折笠浩幸 君

政策課 長

鈴木則昭 君

財務課 長

後藤仁 君

税務課 長

折笠ゆき江 君

町民課 長

伊藤智 君

生活安全課 長

鈴木啓義 君

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

保健福祉課長	伊藤文子君
子ども支援課長	鈴木義光君
都市整備課長	菅野勇君
産業振興課長 兼農業委員会事務局長	鎌田功紀君
上下水道課長	名取仁志君
オリンピック推進室長 兼オリンピック推進班長	佐藤浩幸君
収納対策室長 兼収納整理班長	鈴木久仁子君
文化複合施設推進室長	近江信治君
会計管理者兼会計室長	櫻井浩明君
教 育 長	本明陽一君
教 育 次 長	宮本利浩君
教育総務課長	鈴木真由美君
教育総務課総務給食班長 兼給食センター所長	佐々木辰己君
生涯学習課長	高橋徳光君
監査委員事務局長 兼選挙管理委員会事務局長	庄司英夫君

事務局職員出席者

事 務 局 長	菅井百合子君
主 幹	土屋俊介君
主 任 主 査	利 玲子君
主 事	色麻棕太君

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

午前9時28分 開 議

○委員長（伊勢英昭君） おはようございます。

これより決算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は17名です。

暑い方は、上着を脱ぐことを許可します。

これより議事に入ります。

本特別委員会に付託された平成30年度利府町各種会計決算について、討論、採決を行います。

初めに、認定第1号 平成30年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。討論ありませんか。10番 木村範雄君。最初に反対討論。

○木村範雄委員 認定第1号 平成30年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の討論を行います。

平成30年度一般会計決算は、歳入総額148億6,928万144円、歳出総額135億8,423万4,434円、前年度に比べて歳入で4億3,400万円の減額、歳出で1億4,100万円の増額でした。当初予算と比べれば、歳入で32億9,900万円の増、歳出で1億1,400万円の減額です。このうち、復興関係の復興推進復興整備費は10億2,400万円、翌年度繰越額は9億600万円ということは、復興関連の整備費は最終段階に入ってきているということです。

しかし、土木施設等の整備は終息に向けて最後の仕上げに入っていくものの、須賀・浜田地区に住んでいる住民にとってのなりわいも含めての行政支援を積極的に進めていかなければならないことを指摘しておきたいと思います。

利府町は、施政方針で震災復興計画及び総合計画に基づく6つの施策を打ち出しましたので、これに基づいて平成30年度を振り返りたいと思います。

1点目は、震災からの復旧・再生、さらに発展するまちです。

ここでは、浜田・須賀地区の住民が安心して暮らすことができるように津波対策として進められている防潮堤及び水門の整備を加速させ、復興完遂を目指すとしています。

2点目は、互いにパートナーシップをはぐくむまちです。

ここでは、まちづくり大学、tsumikiによる新たな人材の発掘と仕事づくりを述べています。しかし、町からの報告では当初目標を達成できているとは確認できません。町税等の収納対策でのコンビニ収納も言われています。納税者が納付しやすい制度を進めていきたいと思えます。

各種証明書のコンビニ交付のためのマイナンバーカードの普及は認められません。マイナン

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

バーカードからの個人情報流出等の弊害が危惧されており、町民の意思としてもカード発行数が4,960枚、13.8%の普及率にとどまっています。以前、国民総背番号制度の提案を拒否しており、利用の拡大は認められるものではありません。

3点目は、いきいき学び、心豊かに人をはぐくむまちです。

学校教育に関して述べていることはきちんと加速させて進めていくことを求めています。問題は、これまで進めてきた事業の財源が確保されたにもかかわらず再開しようとする態度は認められるものではありません。

4点目は、心かよい、健康とやさしさをはぐくむまちです。

ここでは、国民健康保険事業と子育て支援、高齢者福祉、防災事業などが述べられています。国民健康保険事業では、国保を利用している人の所得に応じた保険料になっておらず、今以上に国、県、町の繰入額を減らすことが求められています。特に、均等割に収入を生まない子供分を徴収することは認められません。医療費の軽減のためにも一般会計からの繰り入れと健康対策としての予防接種の助成制度等を実施していかなければなりません。

子育て世代や共働き世帯への支援策として、保育所や学童保育で待機児童がないということは評価したいと思います。正規職員で働ける職場づくりと多様化する保育需要への対応を求めています。

5点目は、快適で、うるおいのある暮らしをはぐくむまちです。

接続可能な公共交通体系の構築や新中道地区生活基盤の整備等と述べていますが、新設、改善していくのは当然ですが、整備後の適正な維持管理が求められています。適正な維持管理を行うことにより長寿命化対策につながっていきます。維持管理の予算がふやされていないということを指摘しておきます。また、街路整備だけでなく生活道路、旧赤線等の整備にも力を入れていかなければならないということを指摘します。

6点目は、豊かさを支え、活力をはぐくむまちです。

ここでは産業及び観光について述べています。一次産業が年間を通しての労働ができず、家族を支えていくことができない中での特産品を守るための努力が続けられています。一次産業への積極的な新たな支援策が求められています。t s u m i k iにおける各種起業・創業支援も行われていると言われていますが、所得税の納付までは進んでおらず、新たな取り組みも必要になっています。

最後に、私は、基礎自治体である利府町の最大の責務は住民の安全と安心、住民の福祉の増進を最大限に図り、住んでよかった、住みたい利府町にするために努力することだと思います。

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

利府町は、子育て世帯支援のまち、生涯現役として住みなれた地域で安心して暮らすことができ3世代同居のまちづくりをするために職住近接、働くところを利府町にふやし、住むところも利府町で退職しても住み続けるためにも行政サービスの拡充が一部なされていないことを述べて討論とします。

○委員長（伊勢英昭君） 次に、賛成討論。7番 鈴木忠美君。

○鈴木忠美委員 認定第1号 平成30年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場から討論いたします。

歳入決算額につきましては、復興事業の進捗に伴い財政調整基金からの繰入金及び公共施設整備基金からの繰入金が大幅に減収したことにより、前年度と比較して4億3,414万円の減、148億6,928万円となりました。

一方、歳出決算額も歳入同様に復興事業の進捗に伴い防潮堤工事が完了したため農林水産業が減少したものの、復興事業の精算による震災復興交付金の返還金や公共施設整備資金への積立金の増に伴い総務費が大幅に増加したことにより、前年度と比較して1億4,162万円の増、135億8,423万円となり、歳入歳出差引額が12億8,505万円で、翌年度への繰り越すべき財源6億2,344万円を除き、6億6,160万円が実質収支額となり、そのうち4億円を財政基金に積み立てました。

昨年度に引き続き高い水準での決算額になっておりますが、これは東日本震災に伴う復興事業に要した費用が含まれているもので、震災からこれまでの8年間の取り組みにより2020年までの復興創生期間内における事業完成はもう少しであります。これまでの経過を振り返りますと、被害の大きさを改めて痛感するとともに、一日も早い復興を願うものであります。

次に、基金残高については、公共施設整備品や東日本震災復興交付金の繰入金を実施したため、10億6,886万円減の33億1,359万円となっております。なお、財政調整基金につきましては、昨今の地方財政を取り巻く厳しい財政状況の中、財源不足を補うため3億1,832万円の繰り入れを実施しているものの、約16億8,156万円の残高を確保したことは適正な財政運営ができたものと評価するものであります。

次に、平成30年の施政方針に示された3つの重点施策について検証してまいります。

初めに、暮らしを豊かにするであります。

人口減少、少子高齢化の進展など地方自治体を取り巻く社会情勢が刻々と変化している中、これまでと同様の行政サービスの維持や町民の主体となった地域コミュニティ機能の強化を図るため、町民会議を開催し、町民の皆様と顔が見える討議を重ね、行政と町民が相互理解を

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

深めた取り組みを大いに評価するとともに、今後のまちづくりに生かせるよう引き続き努力を望むものであります。

次に、公共交通の整備についても、町内のバス路線の見直しや利用促進を目的として町民の皆様との意見交換会を開催し、各地区の地域特性の把握に努め、利用者の視点に立った公共交通体系の構築が進められております。

さらに、町の顔となる利府駅前の広場の整備についても検討を始め、混雑緩和や公共交通の利便性の向上を図るため、生活基盤の再建と都市構造の再構築に努めていることは評価できます。

2点目は、教育文化を豊かにであります。

少子高齢化社会に対応した住みよいまちづくりを実施するため、子育て支援を重点施策と位置づけ、子育て支援のまちとして第3子以降の保育料の無料化、子供の医療費助成など、さまざまな町独自の子育ての支援を継続的に実施していることや子育てしやすい環境の整備に取り組んでいることは、子育て世代の方々の経済的な負担軽減や安心して子育てできる環境づくりとして大いに評価するものであります。

今後も、本町ならではの子育て支援を進め、将来のニーズを踏まえた子育て環境の充実について深い検討を期待しております。

次に、教育環境整備について。

利府小学校の新校舎が完成したことや菅谷台小学校のトイレ改修事業を実施するなど、未来を担う子供たちが快適な学校生活を送れるように学習環境の向上に供したものと考えられます。また、新たな交流拠点として整備が進められている文化複合施設についても、令和2年度中のオープンを目指し順調に工事が進められております。

最後に、3点目の経済を豊かにであります。

今後、本町の一層の発展を遂げ、都市としての自立性を高めていくには、定住環境の整備を初め産業機能の集積、拡充などといった雇用創出や、定住人口の増進などが図られる施策を展開していく必要があると考えます。

このような状況を踏まえ、仙塩広域都市計画第7回線引き見直しでは、人口減少や少子高齢化社会に対応した持続可能なまちづくりを推進すべく、新たに5地区が市街化区域に編入候補地区に位置づけされたことは、本町のますますの発展を期待するものであります。その他にも、新中道では令和2年に東北最大級のイオンモールの開業する見込みとなり、地区内の住宅需要はさらに高まるとともに、本町の新たな市街地としてにぎわいが形成されることは中心市街地

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

の活性化にもつながるものとして大いに評価するものであります。

次に、観光振興について。

観光資源の効果的な発信等により相乗効果を目的として新たな取り組みにもチャレンジしており、今後、魅力ある観光事業の展開が期待できるものであります。

このように平成30年度における行政運営は、通常の行政運営に加え震災復興関連業務も行い、町長を初め職員が一丸となって住民サービスの向上と的確な対応に働いたことは大いに評価できます。

以上の理由から、認定第1号 平成30年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定について賛成の討論といたします。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第1号 平成30年度利府町一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（伊勢英昭君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第2号 平成30年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。最初に反対討論。9番 安田知己君。

○安田知己委員 では、認定第2号 平成30年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算に反対討論を行います。

平成30年度の国保会計の歳入額は30億5,520万円、歳出額は29億8,792万円でした。国民健康保険制度は、町民の健康の保持と福祉の増進に大きく寄与している大切な事業であることは認めますが、以下の3点を指摘し、反対いたします。

1つ目として、町民からは国保税が高いという声があります。その原因の1つとして、国保税の均等割は世帯の一人一人に付加されるため、子供の数が多いほど国保税が高くなります。仙台市では、子育て支援として子供に対する均等割の軽減を行っています。利府町としても、均等割の軽減を実施して子育て世帯への支援を強めるべきです。

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

2つ目として、平成30年度の決算書では短期保険証が154世、資格証明書が6世帯に発行されています。短期保険証、資格証明書の発行は、医療を受ける権利を妨げる可能性があります。これらの発行は直ちにやりやめるべきです。

3つ目として、国民皆保険制度の最後の砦である国保制度の安定に対し国は大きな責任を持っています。町は、町民が安心して健康的な生活が営めるよう国保への財政支援拡充を国に求める必要があります。

以上の3点を指摘し、国保会計の反対討論といたします。

○委員長（伊勢英昭君） 次に、賛成討論。17番 羽川喜富君。

○羽川喜富委員 認定第2号 平成30年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場で討論いたします。

平成30年度の歳入は30億5,520万9,942円、歳出は29億8,792万1,560円でありました。歳入全体の収入率は95.8%で、平成29年度より0.1%上回りましたが、直接加入者が負担する国民健康保険税の収入済み額は構成比で19.71%の6億254万9,838円であり、平成29年度より金額で3,641万5,416円の減額となっております。

歳出では、保険給付費が26億4,560万8,609円と歳出全体の71.1%を含め、平成29年度より1,940万9,543円の増額となっており、依然として医療費は大きな負担となっている状況で、その削減が大きな課題ではありますが、現役を引退した高齢者が年々増していく中では医療費の負担はやむを得ない状況であります。

今後は、国民健康保険加入者の保健保持が重要になりますが、平成29年度に策定した第2期データヘルス計画に基づき、各種保健事業を実施し、国保加入者の保健保持と医療費の削減に努めていることがうかがえます。

国民健康保険特別会計においては、加入者から国民健康保険税の収入は毎年減っておりますが、このような厳しい状況下の中でも、本会計の決算は国民負担の公平性を保ち適正に執行されたと考え、賛成いたします。以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第2号 平成30年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

本案は原案のとおり認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（伊勢英昭君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第3号 平成30年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第3号 平成30年度利府町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第4号 平成30年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第4号 平成30年度利府町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第5号 平成30年度利府町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第5号 平成30年度利府町下水道特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第6号 平成30年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第6号 平成30年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、認定第7号 平成30年度利府町水道事業会計決算の認定について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより認定第7号 平成30年度利府町水道事業会計決算の認定についてを採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

令和元年9月決算審査特別委員会（9月27日金曜日分）

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

以上をもって、本委員会に付託された平成30年度利府町各種会計決算の審査は全部終了しました。

なお、委員会報告書の作成については、私に一任願います。

これで利府町議会決算審査特別委員会を閉会します。

御苦労さまでした。

午前9時53分 閉 会

上記会議の経過は、事務局長菅井百合子が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

令和元年9月27日

委 員 長